Roland
WE DESIGN THE FUTURE

Roland Report

第37期 中間報告書

2008年4月1日から2008年9月30日まで

ローランド株式会社

証券コード 7944

ROLAND PIANO DIGITAL
LX-10

ローランド企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう
BIGGESTよりBESTになろう
共感を呼ぶ企業にしよう

「創造の喜びを世界にひろめよう」── このスローガンのもとに、ローランド･グループは着実に事業領域を広げています。イメージを音にする、映像にする、カタチにする、それらを組み合わせる、これが我々のチャレンジです。
「創造」という文化を担う一企業として、常にその社会的責任を強く認識し、全てのステークホルダーにとって「共感を呼ぶ企業」となるよう「BEST」を尽くしてまいります。

Contents

株主の皆様へ 02
トピックス 03
新製品のご紹介 05
新製品　数々の賞を受賞 07
事業別業績 08
営業の概況 09
四半期連結財務諸表（要旨） 11
会社の概要 13
株式の状況 14

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第37期第2四半期累計期間（2008年4月1日から2008年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

当第2四半期累計期間は、原油や原材料価格の高騰に加え、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の高まりや株価下落による実体経済への影響が懸念され、米国のみならず、欧州、日本及びアジア等、世界的に景気の減速懸念が強まる展開となりました。

このような経営環境の中、電子楽器事業では、音楽の楽しみをより多くの方に広められる商品からプロ用の商品まで、商品ラインアップの拡充と付加価値の高い商品開発に重点を置き、国内外における流通チャネルの強化や、お客様への商品訴求に努めました。これにより、国内外において、ステージ･ピアノ、シンセサイザー、電子ドラム、楽器用アンプ等の新製品を中心に堅調に推移しました。

一方、コンピュータ周辺機器事業では、「カラー(業務用大型カラープリンター)」と「3D（3次元入出力装置）」の二分野を中心に積極的な事業展開を図りましたが、不透明な事業環境を勘案し、在庫を圧縮するため、生産及び出荷調整を行いました。

以上の結果、全体では売上高は531億22百万円（前期比1.1％増）となりましたが、営業利益は、円高の影響及びコンピュータ周辺機器事業における生産･出荷調整による原価率の上昇等により48億96百万円（前期比31.7％減）、経常利益は50億76百万円（前期比31.2％減）、第2四半期純利益は、投資有価証券の評価損等により11億4百万円（前期比49.7％減）となりました。

通期の見通しは、設備投資意欲の減退、消費マインドの低迷、為替相場の状況等を勘案し、売上高は1,067億円（前期比1.7％減）、営業利益は89億円（前期比33.3％減）、経常利益87億円（前期比33.5％減）、当期純利益23億円（前期比36.5％減）を見込んでいます。

中間配当金につきましては、第2四半期累計期間の連結業績と通期の連結業績予想及び配当性向等を総合的に勘案し、誠に遺憾ではありますが中間配当金を期初の予想より2円50銭減配の15円（年間配当金は1株につき30円の予想）とさせていただきます。

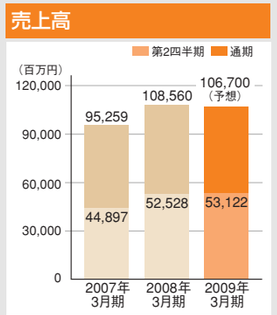
今後とも、各製品カテゴリーにおいてラインアップの拡充に努め、市場ニーズを先取りしながらシェア拡大に努めてまいります。

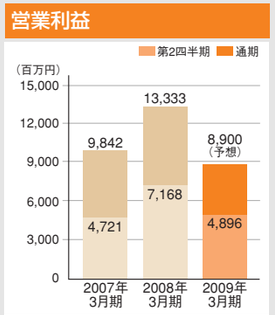
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

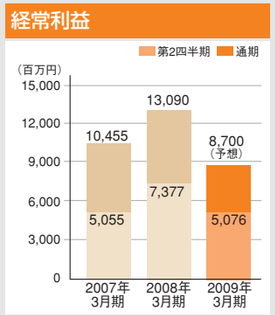
2008年12月

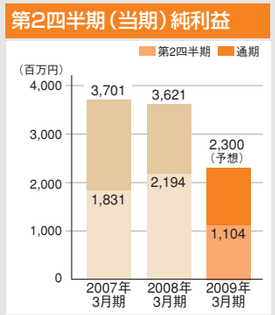
取締役会長　檀 克義
取締役社長　田中 英一

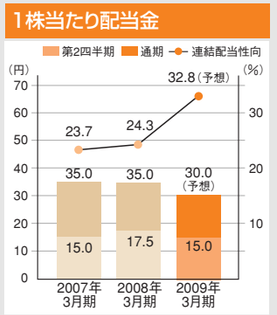
■連結財務ハイライト











経営情報

ローランド「スタジオ」建設着工

当社は、業務用音響・映像機器をお客様に提案するための本格的な研修施設および各種コンテンツの企画・制作の拠点として、浜松研究所内にローランド「スタジオ」を建設します。2008年9月に建設着工し、2010年3月に完成予定です。「スタジオ」は、免震構造の鉄骨造り3階建て、延床面積2,080m²で、撮影スタジオやビデオ編集室、試写室などを備えています。

今後の成長分野として、当社は「業務用音響および映像分野」に注力しています。コンサートなどのライブ演奏の演出から、収録、そして編集・制作までを一貫して行える「スタジオ」を建設し、そこに当社の最新の業務用音響・映像機器を導入して、お客様に「音と映像のトータルソリューション」を提案します。また、販売促進のためのDVDやCD、楽器用教材、映像機器用の映像素材など各種コンテンツを内製化することで、コンテンツ制作のノウハウを蓄積するとともに、音楽や映像の制作・編集機器関連製品の開発業務を「スタジオ」に統合し、開発の効率化を図ります。

ローランド「スタジオ」完成予想図

ギター関連機器の台湾生産会社新工場の建設着工

BOSSブランドのギターエフェクターなどを生産しているRoland Taiwan Electronic Music Corp.は、台北から南に約30km離れた桃園県亀山郷に、新工場を建設します。新工場は、地下1階・地上5階建てで、延床面積は約11,000m²、生産能力は現工場の約1.8倍になります。

2009年5月の完成を予定しており、完成後は、ギター関連機器の生産ラインを新工場に全面移管するとともに、基板実装ラインと一部組立ラインを新たに導入。従来、外部に委託していた基板実装や前工程の組立の一部を内製化して、生産効率の向上を図ります。

音楽教室の展開

ローランドRMS音楽教室 ローランド・サテラ 北山田教室 横浜にオープン

10月1日横浜市都筑区北山田に、ローランドの直営教室である「ローランド・サテラ 北山田教室」を開設しました。開放感のあふれる明るいデザインを採用し、デジタルピアノや電子オルガンのほか、お子様向けの電子ドラムコース「Vドラムキッズ」や、お母さんのための「ボーカルコース」も開設しました。ローランドは、この地域の多くの方々に親しんでいただけるような音楽教室づくりに努めます。

Roland Satella

ローランド・サテラ 北山田教室

北山田教室エントランス

環境・社会への貢献

電子ピアノのキャビネットを調達しているインドネシアで植林を開始

当社は、環境保全活動の一環として、インドネシア中部ジャワ州において2008年1月より植林を始めました。100ヘクタール（東京ドームの約20個分）の植林地に、3年間でインドネシア在来種や有用樹、果樹など約14万本分を植林します。

100ヘクタールの植林地のうち70ヘクタールを「産業植林」とし、当社電子ピアノのキャビネット部材として利用する予定です。2012年以降、年間約1,640m³の木材生産が可能になります。世界的に木材資源の枯渇が危惧される中で、環境に配慮した木材調達は、重要な社会的責任の一つです。また将来、出所の明らかな「植林木」を電子ピアノのキャビネットの原材料にすることは、当社電子ピアノの環境性能の向上にもつながります。

30ヘクタールは、伐採せずに「環境植林」とします。この植林地は、現地の農業用ダムの水源地帯に位置し、水源かん養効果が見込めるとともに、森林の成長過程での二酸化炭素吸収などによる地球温暖化防止に貢献します。

これらの植林は、今後20年間で約1万トンの二酸化炭素の吸収を見込んでいます。また、植林地で果樹、バイオ燃料植物、薬草などを同時に栽培することにより、地元への農業支援を行うほか、小学校にパソコン、教科書や文房具などの学用品の支援も行います。

植林の様子

北京オリンピック閉会式で二胡プリアンプ「EH-10」が活躍!

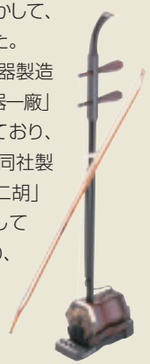
2008年8月24日の北京オリンピック閉会式において、64名の女性二胡奏者が参加した楽曲「北京、北京、我愛北京」で、当社の二胡専用のプリアンプ「EH-10」を取り付けた「エレクトリック二胡（電二胡）」が使用されました。

「二胡」は、中国を代表する民族楽器。二本の弦が発する美しい音色や豊かな表現力は、老若男女を問わず多くの人に親しまれています。「EH-10」は、この二胡のために開発されたプリアンプで、そのサウンド本来の豊かさを保ちながら拡声するだけでなく、リバーブなどのエフェクトにより二胡をより魅力的な楽器にするものです。

製品開発のきっかけになったのは、現代的な中国民族音楽を代表する二胡奏者・作曲家であり、今回北京オリンピック閉会式の音楽総監督を務めた卞 留念（ビェン・リウニェン）氏が、当社創業者の梯 郁太郎に「二胡をもっと世界中にアピールしたい」という夢を語ったこと。当社子会社でギター関連製品の開発・製造を行っているボス株式会社が、アコースティックギター向けの製品開発で培ってきた技術を活かして、「EH-10」を開発しました。

閉会式の本番を待つ二胡プレーヤー

当社は、中国の民族楽器製造販売大手の「上海民族楽器一廠」に「EH-10」を出荷しており、上海民族楽器一廠社は、同社製の二胡に取り付けて「電二胡」として中国国内で販売しています。「EH-10」により、中国でより多くの方がRolandブランドに親しんでいただくことを期待しています。


EH-10を装着した「電二胡」

電子楽器

JUNO-STAGE

Roland

アマチュアからプロまで、あらゆるライブ演奏で威力を発揮するシンセサイザー

バンド・サウンドにも埋もれない迫力のサウンド、繊細なタッチからダイナミックなタッチまで幅広い演奏表現が可能な新開発の「おもり付きシンセ鍵盤」を搭載。76鍵のサイズながら9.8kgと軽量なので、リハーサル・スタジオからライブ会場への持ち込みにも便利です。

MOBILE CUBE

どこでも「いい音」で使える電池駆動の小型ステレオ・アンプ

単3乾電池6本で、最大15時間の連続使用が可能です。軽量でコンパクトなボディなので、持ち運び自由。キーボードやギターなどの楽器演奏、ボーカル、オーディオ再生、プレゼンテーションなど、様々な場所で活躍するステレオ・モバイル・アンプです。

RMP-12

世界初のマーチング・吹奏楽用電子パーカッション

128種類の多彩な音色により、アコースティック楽器では表現できない新たなパフォーマンスが可能になりました。また、自然な打感と優れた消音性が得られる独自開発のメッシュ・パッド、叩くタイミングや強弱のバランスなどチェックしながら正確なドラム演奏を身につけられる練習サポート機能も搭載しています。

映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器

F-1

EDIROL by Roland

ハイビジョン映像をハード・ディスクに直接記録、すぐにパソコンで編集できるポータブル・ビデオ・レコーダー

120GBの大容量ハード・ディスク・カートリッジを記録媒体に採用し、コンパクトなボディながら、2チャンネルの非圧縮リニアPCMによる高音質の音声付きで、9時間のハイビジョン収録が可能に。ハード・ディスクは着脱式で、USB対応。直接パソコンに接続し、即編集作業に取り掛かれます。またネットワーク(LAN)に対応しているので、遠隔操作やファイル共有も可能です。編集時間が短縮化され、効率的に作業できる次世代の業務用ビデオ・フィールド・レコーダーです。

家庭用電子楽器

LX-10

Roland

スリムでモダンなデザインと豊かなサウンドを楽しめる電子ピアノ

奥行き約45cmのスリムなボディには、黒塗鏡面艶出し塗装とサテンブラック仕上げを採用。2トーン・ブラックの絶妙なコントラストが美しい、高級感あふれるデザインです。また楽器全体の「鳴り」を追求し、空間をふるわせるような豊かな音の響きを楽しめます。

AT-75

ローランド・オルガン「ミュージック・アトリエ」の入門モデル

オルガンをより身近に、また気軽に演奏を楽しんでいただくため、上位機種ゆずりの音色クオリティや上鍵盤・下鍵盤・ペダル鍵盤を備えながら「ミュージック・アトリエ」として初めて10万円台の低価格化を実現しました。

VIMA RK-300

「弾く」「歌う」「セッションする」、そして「その場でCDに」家族みんなで楽しめる電子ピアノ

表現力豊かな音やタッチといった高い基本性能に加え、鍵盤を弾くと光の玉や音符を本体の液晶画面や接続したテレビなどに表示する「アニメ機能」、自動でハーモニーが付く本格的な「カラオケ機能」を搭載しました。さらにマイクだけでなく、ギターや電子ドラムを接続することができ、バンド演奏も楽しめます。また、お子様のピアノ演奏や友人達とのバンド演奏をパソコンなしでCDにすることも可能。ピアノの新しい楽しみ方を提案する、新しいホーム・エンターテイメント・ピアノです。

ブランドのご紹介

Roland
最先端の技術で
電子楽器の世界をリードする
電子楽器の総合ブランド

BOSS
ギタリストの夢をかなえるブランド

EDIROL by Roland
コンピュータ・ミュージックと
映像機器のブランド

RSS by Roland
音響空間を演出するブランド

RODGERS
デジタル技術と伝統の技が融合した
クラシック・オルガンのブランド

cakewalk by Roland
先進的かつ快適な音楽制作環境を
提供するブランド

Roland
柔軟な発想で新市場を確立、
コンピュータ周辺機器のブランド

新製品 数々の賞を受賞

ローランドの新製品は、楽器や映像・音響機器など各分野における国際的な展示会で、様々な賞をいただいています。

INTERNATIONAL DESIGN EXCELLENCE AWARDS '08 入賞

Roland

V-Drums Lite HD-1 と 専用モニター・スピーカー PM-01

2008年7月、アメリカ・インダストリアル・デザイナー協会（IDSA）とビジネスウィーク誌が共催し、デザインの重要性や価値を社会に広めることを目的とした国際的なデザイン賞「International Design Excellence Award 2008」のエンターテイメント部門で入賞しました。

V-Drums Lite HD-1 と PM-01

DV BLACK DIAMOND AWARD 2008 / event DV Best of NAB 2008 受賞

ビデオ・フィールド・レコーダー F-1

米国国際放送機器展「NAB Show 2008」（開催:2008年4月14日～17日）で、DV Magazine誌の「Black Diamond Award 2008」とeventDV誌の「Best of NAB 2008」を受賞しました。

EDIROL by Roland

F-1

NAMM BEST in SHOW 受賞

EDIROL by Roland

ポータブル・レコーダー R-09HR スライサー SL-20

米国テネシー州ナッシュビルで開催された「Summer NAMM Show 2008」（開催:2008年6月20日～22日）で、「BEST in Show」を受賞しました。

R-09HR

BOSS

SL-20

2008 rentalSTAGING SYSTEMS award / PAR 受賞

ライブ・ミキシング・コンソール M-400 と デジタルオーディオ伝送システム Digital Snake の「V-Mixing System」

米国ラスベガスで開催された設備・レンタル業界向けの展示会「InfoComm 2008」（開催:2008年6月18日～20日）で、「Rental & Staging Systems Award」の「ベスト・オーディオ・コントロール／ミキシング・プロダクト」を受賞しました。

また昨年は、ニューヨークで行われたオーディオ専門業界向けの「AESコンベンション2007」で、V-Mixing SystemがPro Audio Review誌の「PAR Excellence Award 2007」を受賞しました。プロ・オーディオ専任委員によって選出される賞で、「革新性、価値、パフォーマンス」の3基準すべてを満たした新製品に贈られるものです。

RSS by Roland

V-Mixing System

「Trendsetter Product」 受賞

Roland

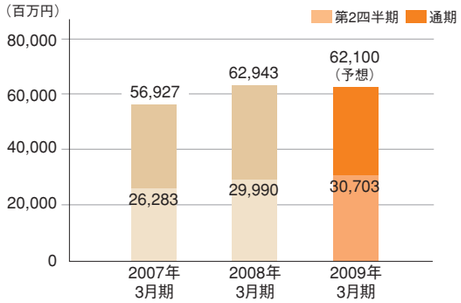
マーチング・パーカッション RMP-12

同じく「Summer NAMM Show 2008」で、新しいコンセプトを市場に提案した商品に贈られる「Trendsetter Product」を受賞しました。

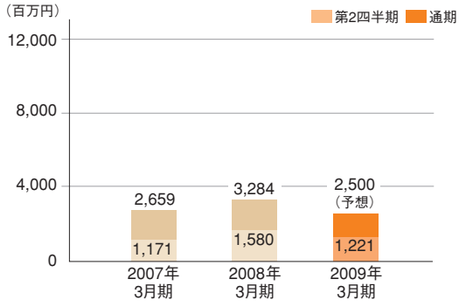
RMP-12

■電子楽器事業

売上高の推移

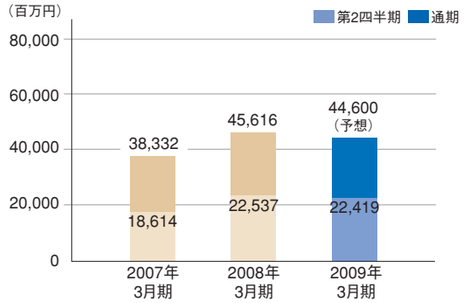


営業利益の推移

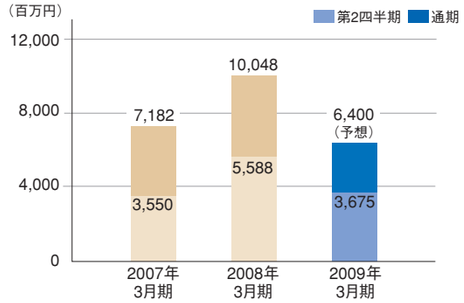


■コンピュータ周辺機器事業

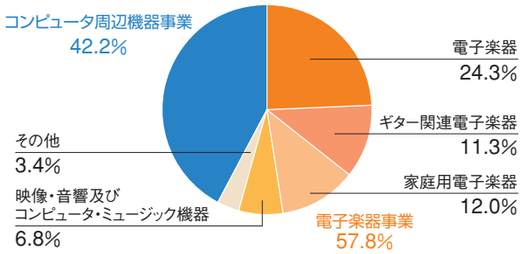
売上高の推移



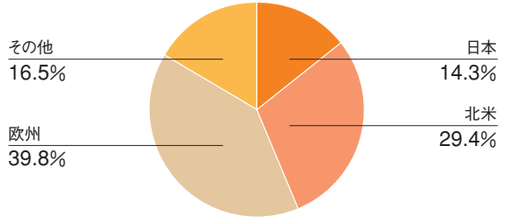
営業利益の推移



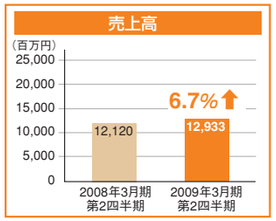
事業セグメント別売上高構成比（第2四半期）



地域別売上高構成比（第2四半期）



■電子楽器事業



電子楽器

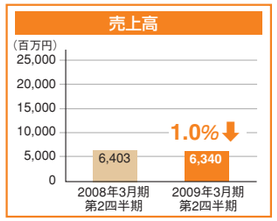
国内外において、シンセサイザーの主力機種で、ライブ演奏や楽曲制作用のワークステーション・シンセサイザーの新製品「Fantom-Gシリーズ」が好評で売上が大きく伸長しました。また、ステージ・ピアノ「RD-700GX」、電子ドラム「TD-9KX」、楽器用アンプ「MICRO CUBE RX」等の新製品の販売が好調に推移しました。

Fantom-G8

RD-700GX

TD-9KX-S

MICRO CUBE RX



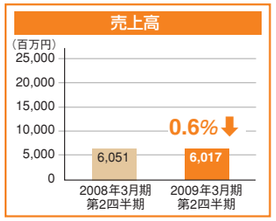
家庭用電子楽器

電子ピアノは、国内では、中価格帯以上の機種は堅調に推移するものの、競合他社の低価格帯製品の影響で、低価格帯を中心に販売が減少しました。海外では、ドイツやフランス等欧州で電子ピアノの販売が伸長、北米は住宅景気低迷の中、引き続き厳しい状況で推移しましたが、電子オルガンの新製品が寄与しました。

RG-1

HPi-7S

AT-900C

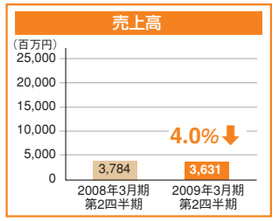


ギター関連電子楽器

ギター・エフェクトは、マルチ・エフェクターの新製品「GT-10」等が国内外ともに好調、「VG-99」等のギター・シンセサイザーも海外において堅調に推移しましたが、ギター・ユーザー向けレコーダー「BRシリーズ」の販売が減少しました。

GT-10

VG-99



映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器

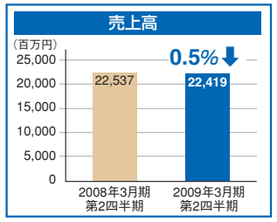
映像・音響機器では、国内はマルチ・フォーマット・ビデオ・コンバーターが堅調、海外では業務用音響ミキサーの導入が進みました。コンピュータ・ミュージック機器は、国内では音楽制作ソフトやオーディオ・インターフェース（音声入出力装置）等が好調に推移するものの、ポータブル・レコーダーが、他社との競争厳しく、国内外において伸び悩みました。

V-Mixing System

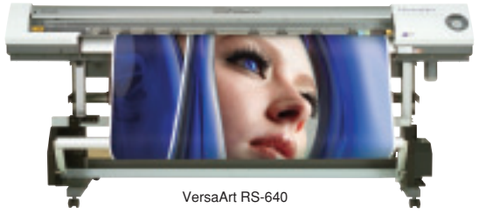
SONAR 7 シリーズ

R-09HR

■コンピュータ周辺機器事業



業務用大型カラープリンターは、需要は比較的底堅いものの、顧客の資金調達環境の悪化等により、売上が減少しました。工作機器は、彫刻機「EGX-350」とメタル・プリンター「MPX-80」が彫刻工芸やアクセサリー製作向けに堅調に推移しましたが、設備投資意欲の後退が製造業向けの切削機の売上に影響し、全体として売上が減少しました。一方、サプライは低溶剤系インク「ECO-SOL　MAX」の伸長により、売上が増加しました。また、為替の大幅な円高が事業売上全体の減少要因となりました。


VersaArt RS-640

ECO-SOL MAX

EGX-350

METAZA MPX-80

四半期連結財務諸表（要旨）

四半期連結貸借対照表

（単位:百万円）

科　目	当第2四半期 2008年9月30日現在	前　期 2008年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**64,685**	**64,971**
現金及び預金	19,791	19,991
受取手形及び売掛金	13,290	13,906
たな卸資産	23,521	23,672
その他	8,606	7,797
貸倒引当金	△523	△395
固定資産	**33,144**	**33,720**
有形固定資産	**19,822**	**19,310**
建物及び構築物	8,067	7,900
工具器具備品	2,088	1,930
土地	7,676	7,720
❶ その他	1,989	1,758
無形固定資産	**2,462**	**2,554**
投資その他の資産	**10,859**	**11,855**
❷ 投資有価証券	4,224	4,814
その他	6,771	7,130
貸倒引当金	△136	△89
資産合計	**97,830**	**98,692**

（単位:百万円）

科　目	当第2四半期 2008年9月30日現在	前　期 2008年3月31日現在
負債の部		
流動負債	**15,411**	**16,906**
❸ 支払手形及び買掛金	4,033	6,257
❹ 短期借入金	1,074	379
その他	10,303	10,269
固定負債	**3,262**	**3,095**
負債合計	**18,673**	**20,002**
純資産の部		
株主資本	**60,078**	**59,424**
資本金	9,274	9,274
資本剰余金	10,801	10,801
利益剰余金	40,692	40,037
自己株式	△689	△689
評価・換算差額等	**△85**	**508**
少数株主持分	**19,163**	**18,756**
純資産合計	**79,156**	**78,689**
負債純資産合計	**97,830**	**98,692**

❶ **有形固定資産　その他**
子会社の工場増設工事により4億円増加しました。

❷ **投資有価証券**
投資有価証券の評価損により6億円減少しました。

❸ **支払手形及び買掛金**
子会社の生産・出荷調整により20億円減少しました。

❹ **短期借入金**
ブラジル販売会社を連結子会社としたことにより7億円増加しました。

四半期連結損益計算書

（単位:百万円）

科　目	当第2四半期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前第2四半期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
売上高	**53,122**	**52,528**
売上原価	29,941	28,216
売上総利益	**23,180**	**24,311**
❶ 販売費及び一般管理費	18,284	17,142
営業利益	**4,896**	**7,168**
営業外収益	683	648
営業外費用	504	439
経常利益	**5,076**	**7,377**
特別利益	62	99
❷ 特別損失	621	32
税金等調整前四半期純利益	**4,516**	**7,444**
法人税、住民税及び事業税	2,181	3,370
法人税等調整額	△63	△144
少数株主利益	1,294	2,023
四半期純利益	**1,104**	**2,194**

❶ **販売費及び一般管理費**
子会社において、人件費や広告販促費等で11億円増加しました。

❷ **特別損失**
投資有価証券の評価損で6億円増加しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科　目	当第2四半期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前第2四半期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
❶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,478	3,779
❷ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,209	△2,519
❸ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△907	△2,288
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80	376
現金及び現金同等物の増減額	280	△652
現金及び現金同等物の期首残高	19,554	22,413
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	123	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,958	21,761

❶ **営業活動によるキャッシュ・フロー**
営業活動によるキャッシュ・フローは24億円となり、前期比13億円の収入減となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の減少（△29億円）とたな卸資産の減少による収入の増加（＋11億円）によるものです。

❷ **投資活動によるキャッシュ・フロー**
投資活動によるキャッシュ・フローは△12億円となり、前期比13億円の支出減となりました。主な要因は、定期預金の払戻（4億円）や有価証券や投資有価証券の売却（6億円）による収入の増加によるものです。

❸ **財務活動によるキャッシュ・フロー**
財務活動によるキャッシュ・フローは△9億円となり、前期比13億円の支出減となりました。主な要因は、短期借入金の純増減額が前期△11億円であったのに比べ、当期は＋2億円であったことによるものです。

■会社の概要 (2008年9月30日現在)

商号	ローランド株式会社(Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器およびそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
従業員数	2,667人(連結)　811人(単体)

■役員の状況 (2008年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役)	檀　克義
取締役社長(代表取締役)	田中英一
専務取締役	西澤一朗
常務取締役	近藤公孝
取締役	柳瀬和也
取締役	池上嘉宏
取締役	冨岡昌弘
取締役	デニス・フーリハン
取締役	ジョン・ブース
取締役	佐藤克昭
常勤監査役	河合保
常勤監査役	上野博司
監査役	川島実
監査役	前川三喜男
特別顧問	梯　郁太郎
会計監査人	監査法人トーマツ

(注)取締役　佐藤　克昭氏は社外取締役です。
(注)監査役　川島　実氏および前川　三喜男氏は、社外監査役です。

■事業所 (2008年9月30日現在)

本社工場	静岡県浜松市北区細江町中川2036番地の1
工場	都田工場、伊左地工場、松本工場
研究所	浜松研究所
試験センター	都田試験センター
流通センター	浜松流通センター
国内オフィス	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
海外オフィス	ロッテルダム
ローランドRMS音楽教室	**〈センター直営教室〉** 札幌/渋谷/浜松/名古屋/京都/梅田/広島/福岡 **〈ローランド・サテラ〉** 横浜

■グループ各社(国内) (2008年9月30日現在)

製造	ボス株式会社
製造	ローランド エスジー株式会社
製造販売	ローランド エンジニアリング株式会社
製造販売	ローランド ディー. ジー. 株式会社
製造販売	アトリエビジョン株式会社

■グループ各社(海外) (2008年9月30日現在)

販売
Roland Corporation U.S.
Roland Systems Group U.S.
Roland Canada Ltd.
Roland Brasil Importação, Exportação, Comêrcio, Representação e Serviços Ltda.
Roland Corporation Australia Pty. Ltd.
Roland (U.K.)Ltd.
Edirol Europe Ltd.
Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH.
Roland Central Europe n.v.
Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S
Roland Iberia, S.L.
Roland (Switzerland) AG
Roland Italy S.p.A.
Roland East Europe Ltd.
Roland Taiwan Enterprise Co.,Ltd.
Roland Asia Pacific Sdn.Bhd.
Roland (Shanghai) Logistics Co.,Ltd.

製造
Rodgers Instruments LLC
Roland Taiwan Electronic Music Corp.
Roland Electronics (Suzhou) Co.,Ltd.
Roland Europe S.p.A.
Cakewalk, Inc.

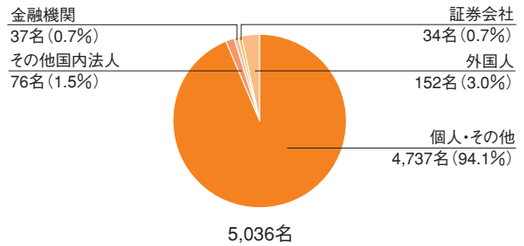
■発行株式数および株主数 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	25,572,404株
自己株式数	464,618株
株主数	5,036名

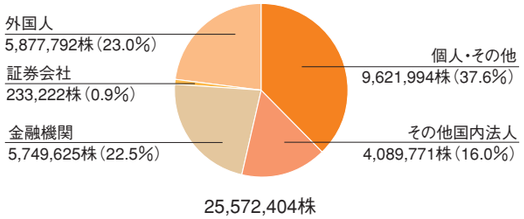
■大株主 (2008年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
財団法人ローランド芸術文化振興財団	2,335	9.1
タイヨウ ファンド エル ピー	1,539	6.0
梯　郁太郎	1,507	5.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,386	5.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,216	4.8
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブ アカウント アメリカン クライアント	908	3.6
パイオニア興産株式会社	800	3.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	757	3.0
ローランド社員持株会	640	2.5
株式会社りそな銀行	561	2.2

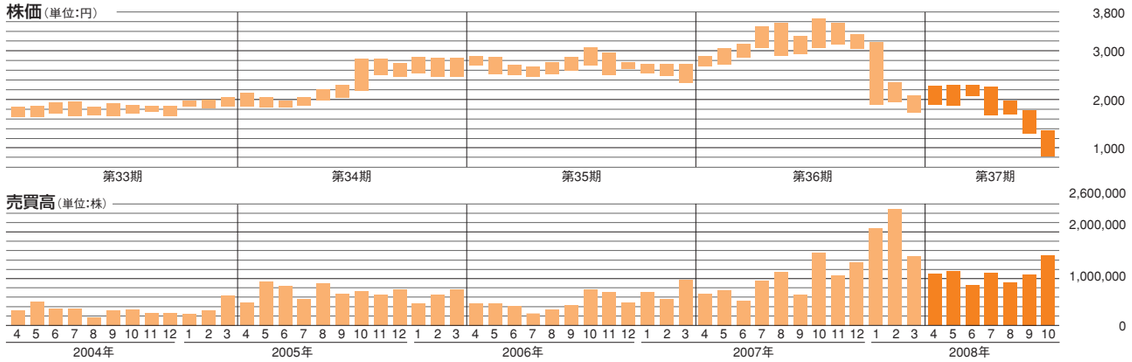
■所有者別株主分布状況 (2008年9月30日現在)



■所有者別株式分布状況 (2008年9月30日現在)



■株価及び売買高の推移 2004年4月～2008年10月



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日 （その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。）
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
（各種お問い合せ）	電話 0120-255-100 ※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 電話 0120-351-465 http://www.daiko-sb.co.jp
公示方法	電子公告とし、当社ホームページ（http://www.roland.co.jp/ir/koukoku.html）に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株券の電子化について

株券電子化（2009年1月5日予定）が実施されますと、上場会社の株券は無効となり、上場株式はすべて証券会社等と証券保管振替機構（ほふり）のコンピュータ上の口座（振替口座簿）で管理されることとなります。なお、株券電子化までに「ほふり」に預託されなかった株券（登録単元未満株式を含みます）につきましては、「特別口座」で管理されます。

特別口座の開設について

「特別口座」とは、株主さまの権利を確保するために当社が開設する口座です。当社は、特別口座を株主名簿管理人である「株式会社だいこう証券ビジネス」に開設することとしました。なお、この特別口座は、株式の売買を目的としていないため、株式の売却（単元未満株式の買取・買増を除きます）などを行う場合には、株主さまが別途証券会社等に口座を開設し、株式を振り替えていただく必要があります。詳細につきましては、上記の株主名簿管理人までお問い合せください。

（注）特別口座は、株券の名義人名で開設されますので、お手元にお持ちの株券がご本人名義でない場合は、株券の電子化実施前までに名義書換が必要です。

IRフェア出展のお知らせ

ローランドは、「関西ノムラ資産管理フェア2009」に出展します。
ぜひ、お越しください。

●日　程：2009年2月13日（金）、14日（土）
●場　所：京セラドーム大阪

ローランドIRサイトのご案内

最新のニュースリリースやIR情報を掲載しています。

http://www.roland.co.jp/

IRメール配信を行っています。
ぜひ、ご登録ください。

Roland
WE DESIGN THE FUTURE

http://www.roland.co.jp/